



炉端の会
2019.06

「炉端の会」のひとり言-1

◇10連休中の「炉端の会」の取組み1 「草バッタ教室・風車を作ろう」

平成から令和に変わる5月1日を含む、今年のゴールデンウィークは4月27日から5月6日迄、初の10連休となりました。「炉端の会」ではこの期間、様々な活動が計画されていますが、その先陣を切って快晴となった4月28日(土)に佐々木家の縁側で「草バッタ教室」、前庭で「風車を作ろう」という取組みを行いました。



(佐々木家の縁側では「草バッタ教室」、庭のテントでは「風車を作ろう」の催し)

○「草バッタ教室」では、材料となるシュロの葉を多数準備し、炉端の会の会員が作り方をマンツーマンでお教えするもので、来園された方に自ら、草バッタを作って頂きました。草バッタ教室では作り方をお教える事が目的の為、10名以上の講師が参加して、マンツーマンで丁寧に指導していました。草バッタ教室の参加者:両日ともに60名程度で盛況でした。



(風車は子供達でも簡単に作れます)

○「風車を作ろう」では、会員が事前に準備した風車の材料を組み合わせて風車に仕上げるもので、多くの方が風車となる折り紙の模様、風車の軸に入れるスペーサー等の組み合わせを楽しみながら、風車作りに取り組んでいました。出来た風車は、会員がきちんと回るか確認し、回る様に調整の上、風車づくりに取り組まれた方にお渡ししておりました。



(草バッタ教室には多くの講師が参加)

この日、園内には風車と草バッタを手にした方が多くおられました。当初の計画では草バッタ教室は4月28日と5月6日、「風車を作ろう」は4月28日のみの予定でしたが、急遽、5月6日にも「風車を作ろう」を行うことになりました。「風車を作ろう」の参加者:4/28 149名、5/6 138名(風車本数換算)



「炉端の会」のひとり言-2

◇10連休中の「炉端の会」の取組み2 「こども民家園検定」

ゴールデンウィークの後半、5月3日(金)～5日(日)の3日間、「こども民家園検定」を行いました。「こども民家園検定」の問題は信越の村にある5つの建物(佐々木家、江向家、山田家、野原家、山下家)に関するものです。問題は「見上げてみよう!編」と「足もとを見てみよう!編」の2種類あり、英文も準備しました。質問内容は、

- 山田家の床下が高いのは何故か、
- 佐々木家の風呂に何故湯舟が無いのか、
- 佐々木家の右側の窓の上は屋根が持ち上がっているが何に似ているか、
- 野原家に入ると大きなカゴがぶら下がっているがこれは何か、

と言った様に普段、何気なく通り過ぎてしまう部分にスポットライトを当てています。

「こども民家園検定」への参加者は、初日の5/3(金)は118名、5/4(土)は120名、5/5(日)は175名の方々に挑戦して頂きました。「こども民家園検定」と銘打っていますが、英文問題に挑戦される高校生や大学生の方も居られました。質問の答えは、現場に足を運ぶと判るようになっており、問題用紙を手信越の村を行き来する方が多数、見受けられました。全ての設問をチェックし、受付に行くと採点が行われ、全部合っていると認定証と記念の折り紙が配られました。



(受付の様子)



(問題は2種類(英語版も準備))



(答えの確認)



(認定証とできたて賞の折り紙の記念品)

◇10連休中の「炉端の会」の取組み3 「ベーゴマ大会の支援活動」

5/6(月)、広瀬家の前庭で「ベーゴマ大会(第15回民家園杯)」が行われベーゴマの腕自慢な「炉端の会」会員がベーゴマ指導などの支援活動に参加しました。



(午前中の練習会場)

(子供大会(左)と
大人大会(右)の様子)



(「炉端の会」会員のベーゴマ指導)



(日本民家園の園長による大人と子供の表彰式)